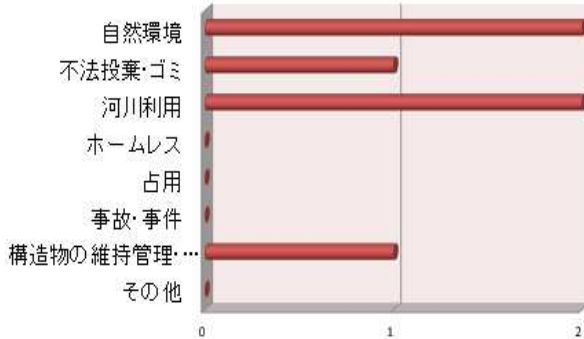


RCM活動報告

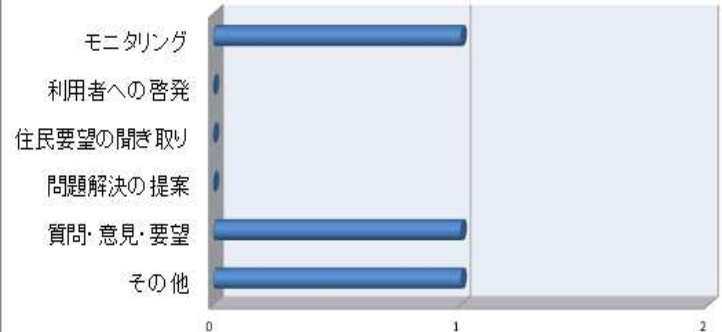
令和4年8月

今回は、3件のご報告を頂きました！

対象分野



連絡内容



管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	3人	1人	1件
鶴見川上流	4人	1人	1件
多摩川下流	4人	0人	0件
多摩川中流	4人	0人	0件
多摩川上流	0人	0人	0件
相模川	9人	0人	0件
浅川	2人	1人	1件
合計	26人	3人	3件

8月の御報告より

一部内容を省略させて頂いています。ご了承下さい。

鶴見川下流分科会より

コノシロが数多く死んで浮いていました。芦穂橋(右岸)より河口干潟生麦(右岸)まで水際に随所に浮いていました。何の要因か知りたく連絡いたしました。【水質調査の結果、水質に有毒性は確認されませんでした。底層部の貧酸素状態が確認されたことから、表層水温上昇により下層へ移動した魚が貧酸素水塊へ迷い込んだことによる窒息死が原因と考えられます。】

鶴見川上流分科会より

鷹野大橋右岸側下流30m位の位置に自転車用の出入り口風開口部ができ、元々は非舗装だった気がする開口部付近は舗装されています。現状は実質上自転車が進出できるように改修工事されているのに標識では禁止のまま、という矛盾状態と思われます。河川天端舗装部分を自動車が進出できない安全な通路と認識して利用させて頂いていること、鷹野大橋を通る大田神奈川線は交通量が多くアンダーパスを利用できないと信号を待つ必要が生じることから、この出入り口とアンダーパスを正式に通行可として頂くことを希望します。また、通行可の場合は自転車進入禁止の標識と鷹野橋人道橋上流側のスロープを上げるよう指示する標識を修正又は廃止の他、開口部付近の砂利部分を舗装頂けますとありがたいです。

一方、万一何らかの理由で自転車進入禁止を維持する必要があるのであれば、現状は多くの自転車が出入り自由になったと認識して出入りしていますので、早急に物理的に塞いでしまう必要があるように思います。

【鷹野大橋アンダーパス部につきましては、カーブの内側に雑草が繁茂し対面の視界が無く、かつ坂道であることから衝突の危険を避けるため、道路の終点に赤白の車止めを設置し、また、大曲広場付近の河川敷道路に看板を設置し、綱島側から鶴見方向に走る自転車は大曲広場の横の坂路を利用して頂くようお願いしております。しかしながら、ご指摘のありましたとおり、鷹野大橋近くの自転車の通り抜けにつきましては、歩行者も含め地域ニーズが高いことを踏まえ、現在検討しておりますので、改善策が決まれば、現地に看板を設置し周知させていただきます。なお、ガードパイプ開口部の舗装は、当該地には段差や水たまりが生じていたため、歩行者の危険回避の目的で施工したところです。】

RCM事務局より

このところ、事務局には堤防の草刈りの時期について、ご意見、ご要望をいただくことが多くあります。堤防除草は、堤防点検により堤防に亀裂や陥没等の異常がないかを確認するため実施するもので、原則年に2回行っております。除草の時期につきましては、その確認作業(堤防点検)前に実施しております。水害から地域の生命・財産を守る大切な堤防をチェックし、悪いところがあれば補修し、健全性の確保に務めて参ります。また、今後リバーシビックマネージャーの皆様から日頃の内容のご報告や、ご意見をいただく場として分科会の開催を予定しております。改めてご連絡を差し上げますので、何卒よろしく申し上げます。

RCM事務局 志村・田中・黒田